

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和3年11月25日(2021.11.25)

【公表番号】特表2021-500399(P2021-500399A)

【公表日】令和3年1月7日(2021.1.7)

【年通号数】公開・登録公報2021-001

【出願番号】特願2020-542533(P2020-542533)

【国際特許分類】

A 6 1 K	31/7105	(2006.01)
A 6 1 P	43/00	(2006.01)
A 6 1 P	17/00	(2006.01)
A 6 1 K	48/00	(2006.01)
A 6 1 K	31/713	(2006.01)
A 6 1 K	9/00	(2006.01)
A 6 1 K	47/32	(2006.01)
A 6 1 K	47/36	(2006.01)
A 6 1 Q	19/00	(2006.01)
A 6 1 Q	19/08	(2006.01)
A 6 1 K	8/60	(2006.01)
C 1 2 N	15/113	(2010.01)

【F I】

A 6 1 K	31/7105	
A 6 1 P	43/00	1 1 1
A 6 1 P	17/00	
A 6 1 K	48/00	
A 6 1 K	31/713	
A 6 1 K	9/00	
A 6 1 K	47/32	
A 6 1 K	47/36	
A 6 1 Q	19/00	
A 6 1 Q	19/08	
A 6 1 K	8/60	
C 1 2 N	15/113	Z

【手続補正書】

【提出日】令和3年10月15日(2021.10.15)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

皮膚へのレーザー照射を含む医療皮膚処置後に、皮膚の若返りを促進するか、皮膚の健康回復を増進するか、または皮膚の回復率を増加させるための薬剤を製造するための、ヒトFidgettin様2をコードするDNAまたはRNAに対するsiRNAまたはshRNAの使用。

【請求項2】

皮膚へのレーザー照射を含む医療皮膚処置後に、皮膚の若返りを促進するか、皮膚の健

康回復を増進するか、または皮膚の回復率を増加させるための組成物であって、

ヒトF id g e t i n様2をコードするDNAまたはRNAに対するsiRNAまたはshRNAを含む組成物。

【請求項3】

請求項1に記載のsiRNAまたはshRNAの使用、または請求項2に記載の組成物であって、

前記薬剤または前記組成物は、前記皮膚中のコラーゲンIの密度または組織を増加させることで皮膚の若返りまたは皮膚の健康回復を促進する、siRNAまたはshRNAの使用、または組成物。

【請求項4】

請求項1に記載のsiRNAまたはshRNAの使用、または請求項2に記載の組成物であって、

前記薬剤または前記組成物は、前記皮膚中のコラーゲンIの組織を増加させることで、または皮膚の真皮表皮接合部と平行なコラーゲン纖維の線形配向度を改善することで、皮膚の若返りを促進する、siRNAまたはshRNAの使用、または組成物。

【請求項5】

請求項1に記載のsiRNAまたはshRNAの使用、または請求項2に記載の組成物であって、

前記回復率の増加が、炎症度合いの低減および/または炎症低減率の増加である、siRNAまたはshRNAの使用、または組成物。

【請求項6】

請求項1または請求項3～5のいずれかに記載のsiRNAまたはshRNAの使用、または請求項2～5のいずれかに記載の組成物であって、

前記レーザー照射に用いるレーザーが、ノン・アブレーティブレーザーまたはブレーティブレーザーである、siRNAまたはshRNAの使用、または組成物。

【請求項7】

請求項1または請求項3～6のいずれかに記載のsiRNAまたはshRNAの使用、または請求項2～6のいずれかに記載の組成物であって、

前記ヒトF id g e t i n様2が、配列番号2に記載のアミノ酸からなる、siRNAまたはshRNAの使用、または組成物。

【請求項8】

請求項1または請求項3～7のいずれかに記載のsiRNAまたはshRNAの使用、または請求項2～7のいずれかに記載の組成物であって、

前記ヒトF id g e t i n様2をコードするDNAまたはRNAに対する前記siRNAが、少なくとも1つの2'-糖修飾を有する、siRNAまたはshRNAの使用、または組成物。

【請求項9】

請求項1または請求項3～8のいずれかに記載のsiRNAまたはshRNAの使用、または請求項2～8のいずれかに記載の組成物であって、

前記siRNAが、配列番号3、4、5、6、7、8、9または10に記載の配列からなる、siRNAまたはshRNAの使用、または組成物。

【請求項10】

請求項1または請求項3～9のいずれかに記載のsiRNAまたはshRNAの使用であって、

前記医療皮膚処置は美容処置であり、

前記美容処置は、レーザースキンリサーフェシングまたはレーザーアブレーションである、siRNAまたはshRNAの使用。

【請求項11】

請求項1または請求項3～10のいずれかに記載のsiRNAまたはshRNAの使用であって、

前記医療皮膚処置は美容処置であり、

前記美容処置の目的が、皺、美容整形後の無反応皮膚、老化または日焼けによって損傷した皮膚、肝斑、母斑、いば、肥大した油腺、ポートワイン母斑、血管腫、および毛細血管拡張を目立たなくすること、あるいは肌の顔色を変化させることである、s i R N A または s h R N A の使用。

**【請求項 1 2】**

請求項 1 1 に記載の s i R N A または s h R N A の使用であって、

前記母斑が、線状表皮母斑である、s i R N A または s h R N A の使用。

**【請求項 1 3】**

請求項 1 または請求項 3 ~ 1 2 のいずれかに記載の s i R N A または s h R N A の使用、または請求項 2 ~ 9 のいずれかに記載の組成物であって、

前記レーザーが、C O<sub>2</sub> レーザー、エルビウムレーザー、長パルスまたはQスイッチを有する 1 0 6 4 n m の N d : Y A G レーザー、1 3 2 0 n m の N d : Y A G レーザー、または 5 9 5 n m の P D L レーザーである、s i R N A または s h R N A の使用、または組成物。

**【請求項 1 4】**

( i ) 皮膚へのレーザー照射を含む皮膚処置による、ヒトの皮膚上に目に見えて現れている皺を減少させるか、または皮膚の回復速度を増加させるのに有効な量の、ヒト F i d g e t i n 様 2 をコードする D N A に対する s i R N A または s h R N A を含有し、かつ、

( i i ) マイクロニードルアレイに収容される、組成物であって、

任意選択で、前記 s i R N A が、配列番号 3 、 4 、 5 、 6 、 7 、 8 、 9 または 1 0 に記載の配列からなる、組成物。

**【請求項 1 5】**

請求項 1 4 に記載の組成物であって、

前記マイクロニードルアレイが、デキストラン、ヒアルロン酸、および P V P のうちの 1 つまたは複数からなる構造を含む、組成物。